

灯台のそばの海

若かった頃に一人訪れていた
この灯台のそばの海に

久しぶりにフェリーに乗って
閉じ込めていた自分見つける

波の呼吸 昔から変わらないで
その時の悩みや迷いも映す
ここに来ればいつしか無くしたものも
まだどこかで生きている気がする

白い灯台が強い風の中
かすかに揺れていた 少し滲んで

あの頃思えば免許もなく
ギター抱えて 一人バスに乗って

誰もいない海めがけ歌った
大きな声も出せないままの生活
放つ声は波の音に消されて
胸の奥少しあつくなった

波の呼吸 昔から変わらないで
その時の悩みや迷いも映す
ここに来ればいつしか無くしたものも
まだどこかで生きている気がする